

ベンチャー大賞で学生部門優勝！ DEC 2022 (株)クロスメディソンの「あわベビ」！

第七回慶應義塾大学医学部主催健康医療ベンチャー大賞にて、k-micメンバーである中井洸我さん率いる株式会社クロスメディソンチームが学生部門優勝・学生部門オーディエンス賞・LINK-J×慶應義塾大学賞・あずさ監査法人インキュベーション賞の4つの賞を受賞されました！今回は、彼らの取り組みについて特集します！

事業内容は？

2020年、核家族や相対的貧困層の増加、コロナ禍での地域交流減少により周囲への協力を得られない母親の産後うつが急増しました。放置すると虐待や愛着障害、家族の絆未形成に繋がりますが、解決すればメンタルヘルス領域の医療費は正や少子高齢化解消のヒントが得られる日本においては重要度が高い問題です。0-1歳の子供を持つ母親が感じるソーシャルサポート数をいかに増加させるかが解決の鍵となりますが、現在マンパワーでカバーする子育て支援には限界があります。そこで、泣き声を可視化し泣いている理由と対処法をユーザーに提示することで新たな親子のコミュニケーションツールとなる泣き声理解促進アプリ「あわベビ」を開発、運営しています。

「あわベビ」のしくみ

泣き声の周波数(Hz)や
大きさ(dB)を分析



感情を独自AIが分析



対処法まで自動で表示

K-MIC REPORT #6



「あわベビ」とは？

泣き声が“わかる”ようになるアプリ。
泣き声の可視化から生まれる赤ちゃんとの
新しいコミュニケーションツール。

ベンチャー大賞と今後について？

ベンチャー大賞出場のきっかけは、ヘルスコモンズ共創の取り組みを知ったことでした。将来的に関わりたく強く思い、そのきっかけ作りとして、学生にできることは健康医療ベンチャー大賞で優勝することだと思いました。

今回の優勝を通して新しい可能性と繋がりが生まれました。今後はこれらを活かし、慶應義塾大学医学部さんのエコシステムに新しい変革と勢いを学生からも生み出したいです。さらに、私たちは徳島、東京、アメリカから集う多種多様なメンバーで構成されているため、独創性と将来性に満ちた組織だと自負しています。それらをバリューに、日本のヘルスケアのメッカとして君臨する慶応大学医学部の一翼を担えるような発展を目指していきます。

クロスメディソンメンバー：中井洸我、福本和生、秋光大地、平本京嗣、Jain Koo、星さくら、高田太陽



k-mic

(k-medical innovation club)

編集:伊庭知里・窪田翔・田村友宏 制作:戸澤小春

HP: k-mic.org

Twitter: @kmedinnovclub

